

はじめに

令和2年度教育要覧『川島の教育』は、本年度の本町の教育に係る各種資料やデータを網羅しています。様々な場面でご活用ください。

さて、本年度は、国を挙げての新型コロナウイルス感染防止のため、3月からの全国的な一斉休業が始まりました。新学期スタート直前の4月7日には、国から「緊急事態宣言」が出されました。

5月25日にこの宣言が解除となったことから、6月1日から学校が再開されました。再開となった各小・中学校では、感染防止に最大限の努力をしつつ、子供たち一人ひとりをきめ細かく把握しながら学習活動を進めています。

令和2年度は小学校、令和3年度は中学校が新学習指導要領のスタートの年です。子供たちの学力の向上は、教師の指導力・授業力にかかっています。そのため、専門職である教師の日々の授業改善の工夫と努力を大いに期待しています。教育委員会は、校長会・教頭会と連携して、学校訪問や学校課題研究などを進める中で新学習指導要領のねらいである「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善を推進し、子供たちに質の高い学力を育むよう努めます。

学校教育のもう1つの課題である「小中一貫教育の研究推進」については、今年度「第2期川島町小中一貫教育推進協議会」設置により、「一体型の小中一貫校」を中心に検討を進めます。

一方、社会教育の面でも、感染防止のために3月以降の生涯学習・生涯スポーツ事業がすべて中止となりました。年度当初に開催予定だった各種団体の総会等も書面決議が続きました。

6月に入り、様々な団体の会議がようやく始まりました。3月に設立した「川島町総合型地域スポーツクラブ」も少しずつ活動を再開しました。

しかし、今年度は、人々が集まり密集する恐れのある8月の各地区盆踊りや9月の地区体育祭などの事業は、中止となりました。

現時点では、11月を中心に実施予定の「中央文化展」、「生涯学習町民ふれあいフェスティバル」、町民体育祭にかわり新たに「スポーツフェスティバル」を一体的に行う予定ですが、首都圏の感染状況によっては縮小しての開催も検討せざるを得ない状況です。

文化財の面では、旧小見野小学校の1室に町内の歴史・民俗資料を整理しつつあり、「歴史と文化のある町」として伝統文化の継承に努めてまいります。

コロナ禍の中でも、子供たちや町民の皆様が生き生きと学び、活動できるような教育行政の推進に力を注いでまいります。

令和2年8月

川島町教育委員会教育長 中村 正宏

川島町民憲章

(昭和五十九年十一月三日制定)

わたくしたちのかわじまは 古く成り立ちの
とき以来 住民の結束により発展してきました
わたくしたちは このかわじままちをこよな
く愛し 教養を高め スポーツに親しみ っ
そう住みよいまちにするため ここに町民憲章
を定めます

- 一 かわじまを守る堤は 心のきずな
- 一 かわじまを生かす きれいで豊かな自然
- 一 かわじまを築く力は 働くこの手
- 一 かわじまの伝統受け継ぎ 創ろう文化
- 一 かわじまの宝だ 伸ばせ子供たち

川島町スポーツ都市宣言

(昭和五十二年一月十六日)

わたしたち川島町民はスポーツを愛し、
スポーツを親しみ、スポーツを通じて、よ
り健康の増進を図り、よって住みよいふる
さとを建設するため次の目標をかかげて、
ここに「スポーツ都市」を宣言いたします

- 一、町民すべてがスポーツを楽しみ実践
しよう。
- 一、力をあわせてスポーツのできる場と
環境を確保しよう。
- 一、スポーツを通じて社会連帯感の高揚
を図るため、地域にも職場にもスポ
ーツの場と機会をつくろう。

生涯学習推進のまち宣言

わたくしたち川島町民は

生涯にわたり健康で楽しく学び合い

思いやりと心のきずなを大切にし

仲良く助け合う家庭をつくり

明るく心豊かな人生が送れる

ふるさと文化の香るまち「かわじま」の実現をめざします

町制20周年にあたり

「生涯学習推進のまち」とすることを宣言します

平成4年11月3日

川島町教育大綱

(平成28年度～令和2年度)

【教育理念】

『広い空、水と緑に恵まれた輪中の郷で、

たくましく心豊かな人づくり』

町の総合振興計画にある「まちが人を育み、人がまちを育む活力と協働のまちづくり」の基本理念を、川島町民憲章にある「かわじまを守る堤は心のきずな」から連想し、「輪中の郷」という言葉で表現しました。

恵まれた自然環境のもとで、学校、家庭、地域が互いに手を取り合い一体となって、子供たちだけでなく大人も、豊かな人間性を育み、たくましく生きることを理念としています。



川島町平和都市宣言

四方を川に囲まれた豊かな自然の中で、安らぎに満ちた平和な日々を送ることが、川島町民すべての願いです。

しかしながら、今なおこの地球上では、戦争や悲惨な争いなどにより多くの尊い命が奪われています。

私たち川島町民は、戦争の惨禍が繰り返されることのないよう、次世代にも平和の尊さを訴え続けていかなければなりません。

私たち川島町民は、美しい郷土、恵まれた自然、豊かな生活を、未来を生きる子どもたちに継承していくために、町民の心を一つにして平和への誓いを新たにし、ここに「平和都市」を宣言します。

平成30年10月1日

川島町長 飯島和夫

I 町の概況

川島町の概況

1 地勢

川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しており、まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。面積は41.63km²で、東西間11.17km、南北間7.9kmの距離となっています。標高は平均14.5mで高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子がかがえる「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

昭和29年、川島領と呼ばれる中山・伊草・三保谷・出丸・八ツ保・小見野の6か村が合併し、川島村が誕生。以後は中学校の統合や上水道の敷設など、積極的な村づくりを進め、昭和47年11月に町制を施行しました。

現在、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジの開通に伴い、インター周辺開発が進み、町は変革のときを迎えています。



北緯/36° 01' 11"
東経/139° 32' 43"
東西/11.17km
南北/7.9km
平均標高/14.5m
面積/41.63km ²

町の木/もくせい

家の庭などに植えられる常緑樹です。花は秋に咲き、よい香りを漂わせてくれる昔から親しまれている木です。



町の花/はなしょうぶ

水田地帯である本町に多く植えられ、愛好されています。初夏には、紫・白・紫紅の大きな花をつける、繁殖力のあるアヤメ科の代表的品種です。



町の鳥/ひばり

早春に、にぎやかにさえずりながら麦畑を空高く舞い上がるさまは、川島の春の風物詩ともいえます。ひばりは“あげひばり”ともいわれ、縁起のよい鳥といわれています。

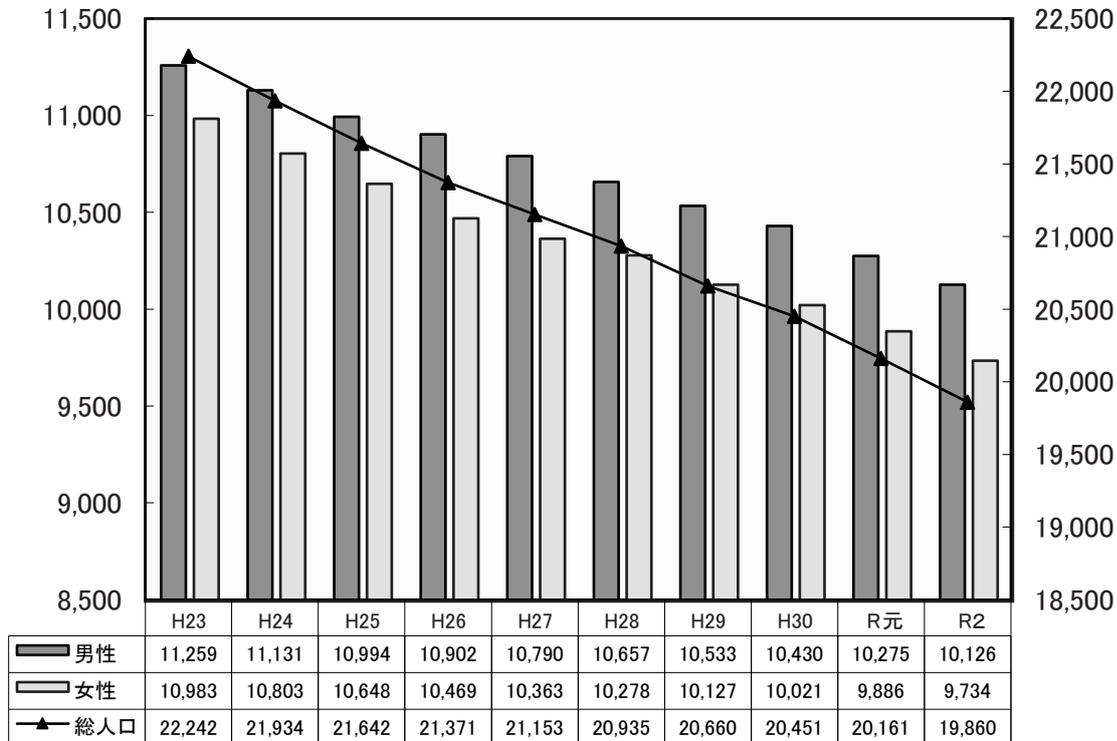


2 町の人口の推移

各年5月1日現在

(性別人口)

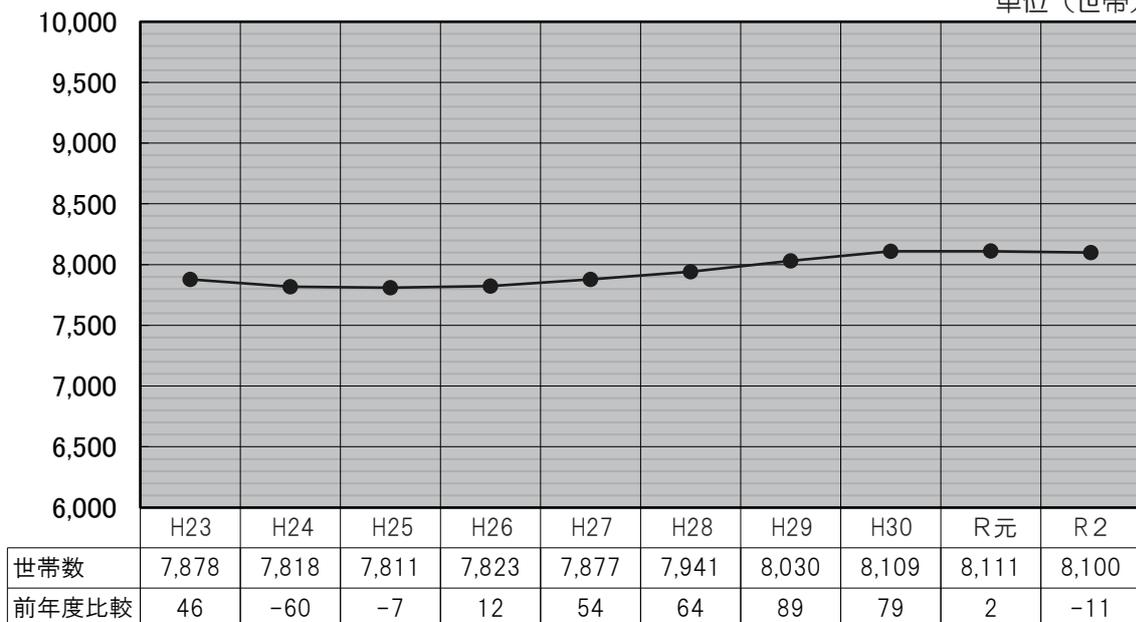
単位(人) (総人口)



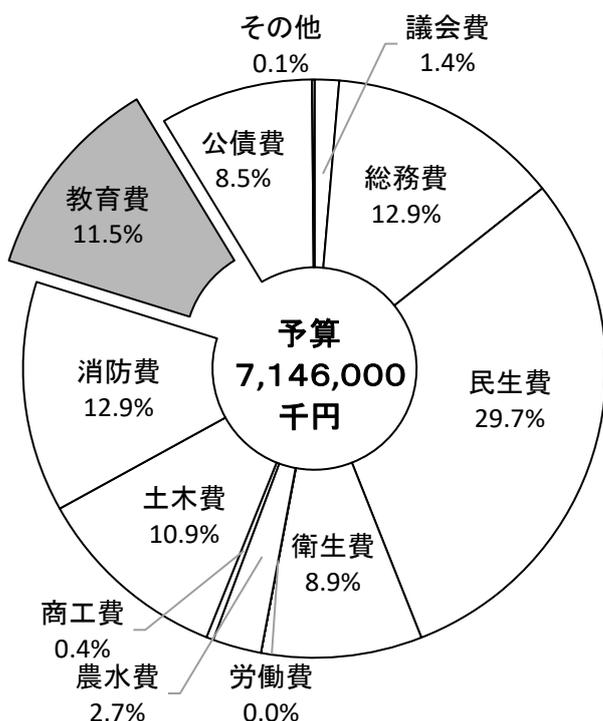
3 町の家帯数の推移

各年5月1日現在

単位(世帯)



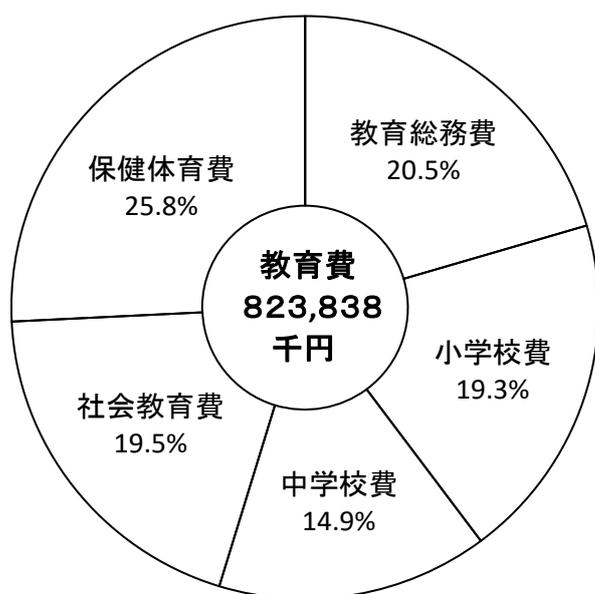
4 町の予算（令和2年度当初）



(単位：千円)

議会費	96,842
総務費	924,312
民生費	2,125,013
衛生費	637,708
労働費	251
農水費	192,777
商工費	27,992
土木費	779,183
消防費	921,287
教育費	823,838
公債費	606,759
その他	10,038
計	7,146,000

5 教育費の内訳（令和2年度当初）



(単位：千円)

教育総務費	168,543
小学校費	159,221
中学校費	123,096
社会教育費	160,741
保健体育費	212,237
計	823,838

Ⅱ 教育行政及び学校教育

川島町教育委員会

【教育委員会】

教育委員会は、地方教育行政の組織運営に関する法律に基づき、町の教育に関する事務を処理するため、市町村等に設置される合議制の執行機関です。

町長が議会の同意を得て任命した教育長と委員4人で構成されており、学校教育、生涯学習、文化財、文化・スポーツの振興などの分野において教育行政を一体的に推進する役割を担っております。

教育委員会の会議は、原則として毎月1回開催される定例会と教育長が認めるとき、または2人以上の請求により開催される臨時会があります。

会議では、・「教育行政の運営に関する基本的な方針及び計画の決定に関すること」

・「学校その他の教育機関の設置等に関すること」

・「教科用図書採択に関すること」

・「教育委員会規則等の制定または改廃を行うこと」

などを教育長及び教育委員の合議により決定いたします。

【教育長及び教育委員】

教育長は、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有するもののうちから、町議会の同意を得て町長が任命し、任期は3年です。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関して職権を有する者のうちから、町議会の同意を得て町長が任命し、任期は4年です。

職名	氏名	任期
教育長	中村 正宏	平成30年10月 4日～令和 3年10月 3日
教育長職務代理者	及川 三栄子	平成28年10月 1日～令和 2年 9月30日
委員	利根川 徹	平成29年12月18日～令和 3年12月17日
委員	今井 茂夫	平成31年 4月 1日～令和 5年 3月31日
委員	仁宮 牧子	令和 元年10月 1日～令和 5年 9月30日

令和2年度

川島町教育行政重点施策

川島町教育委員会では、「川島町教育大綱」（平成28年度～令和2年度）に掲げられた教育の基本理念及び5つの基本目標の実現に向け、令和2年度の『川島町教育行政重点施策』を定めました。

令和2年度は、学校教育においては、小学校の新しい学習指導要領の完全実施の年であり、町の大きな課題である「学力の向上」並びに「小中一貫教育の研究推進」に向けて、教師の授業力・指導力の向上を最重要課題として取り組みます。

生涯学習においては、川島町らしい豊かな生涯学習社会の実現に向け、新しい時代にふさわしい、生涯学習、生涯スポーツの多様な学習・活動機会の充実とともに、子供から高齢者までが様々な活動を通して交流できる、地域コミュニティの形成と地域社会の教育力の向上を図り、全庁をあげた生涯学習の推進体制の構築・学ぶための環境づくりを展開します。

【 教育の基本理念 】 川島町教育大綱より

『広い空、水と緑に恵まれた輪中の郷で、たくましく心豊かな人づくり』

【 基本目標 】 川島町教育大綱より

- 1 確かな学力の育成と質の高い学校教育の推進
- 2 学力の向上、生きる力を育成するための教育環境の整備、充実
- 3 豊かな心と健やかな体の育成
- 4 家庭・地域の教育力の向上
- 5 生きがいづくりと伝統文化の継承

【令和2年度 重点目標】

- I 生きる力を育む学校教育の推進
- II 教育環境の整備・充実
- III 豊かな心と健やかな体の育成
- IV 生涯学習のまちづくり推進
- V 学び・活動する楽しさの発見と伝統文化の継承



グローバル化の進展や人工知能（AI）の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化の中で、志を高く、未来を創り出していくための必要な資質・能力を子供たち一人ひとりに確実に育む、質の高い学校教育の実現を目指します。

新学習指導要領の完全実施に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して授業改善の取組を進めます。

【重点施策と主な取組】

1 学校教育の充実

（1）学力の向上と指導方法の工夫・改善

- ◇学力・学習状況調査（4月）、川島町学力確認テスト（1月）の分析と指導方法の工夫・改善
- ◇研修会や授業研究会の計画的な実施による授業力・指導力の向上
- ◇少人数指導の推進

（2）進路指導・キャリア教育の充実

- ◇キャリア教育の視点を踏まえた中学生社会体験チャレンジ事業の実施（2学年 7月実施）
- ◇比企地区学力テスト実施に係る補助

（3）特別支援教育の推進

- ◇特別支援教育の視点でのすべての教育活動の推進
- ◇教育相談、就学支援委員会の充実
- ◇発達障がいなどに対応する通級指導教室の整備・充実

（4）幼児教育の推進

- ◇幼保小連携事業の推進
- ◇幼・保・小における特別支援教育の充実

2 質の高い学校教育の推進

(1) 教師の指導力・授業力向上に関する指導訪問・研修の充実

◇川島教育研究会と一体となった教科等の授業研究会の計画的な実施による実践的な研修の充実

◇学校指導訪問による教師の授業力の向上

(2) 学校管理運営の改善・充実

◇人事評価制度の活用による教職員の資質・能力の向上

◇学校評価制度の充実による学校改善の推進

◇学校評議員制度を活性化させ、点検・評価及び評価に基づいた更新

(3) 英語教育の推進

◇英語教育充実事業

- ・ALT派遣（中学校常駐）
- ・小学校外国語活動支援員の配置

◇英語検定受験推進事業【拡充】

- ・中学生英語検定受験料負担を2級まで拡大
- ・小学生英語検定受験料負担を3級まで拡大（対象：5・6年生）

※令和元年度：小学校5、6年生対象、5級受験料を1回分負担

◇ALT常駐化による英語教室の活用の推進

◇長期休業期間中のALTによる英語体験学習、英検対策事業【継続】

◇学校と私塾が連携した中学生英語検定受験前対策講座

学校規模適正化、小中一貫教育の推進、川島方式子ども学習支援システムの推進などにより、教育環境の整備・充実を推進します。

教育費等の経済的負担の軽減をし、教育における切れ目ない支援を推進します。

学校と家庭・地域が一体となって相互に協力し合い、教育活動の充実を図ります。

【重点施策と主な取組】

1 教育環境の整備・充実

(1) 小学校通学バス安全運行の推進

◇小学校通学バス運行事業

(2) 小中一貫教育の推進

◇学校教育推進員による小中一貫教育の研究推進

◇「小中一貫推進協議会」とその「専門部会」による小中一貫教育先進校視察
研修【継続】

◇小学校と中学校の連携、交流、研究事業

(3) 学校施設等の改修・修繕の推進

◇中山小学校グラウンド改修事業（工事）【継続】

2 川島方式子ども学習支援システムの推進

(1) 学力向上の推進

◇基礎学力向上事業

- ・家庭学習ノートの作成・配布
- ・小学生家庭学習用ドリル配布【継続】
- ・川島町 CRT 学力確認テストの実施（1月）
- ・比企地区学力テストの補助

◇小学生日本語検定受検推進事業【継続】

◇きめ細かい教育推進事業（町費による35人学級編成）

◇私塾と連携した通塾支援事業

◇放課後児童クラブ学習支援事業【継続】

◇外国人児童・生徒支援事業【継続】

(2) 学校教育環境の整備・充実

◇GIGA スクール構想実現にむけた整備

- ・校内通信ネットワーク整備
- ・児童生徒1人1台端末の整備

◇ICT機器活用・研究事業

(3) 教員の指導力の向上

◇全教職員研修会の実施（学力向上・小中一貫教育の推進）

◇学力先進校(秋田県横手市)への視察(教委事務局及び学校代表の教諭)

3 就学支援の充実

(1) 切れ目のない教育支援

◇要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

◇特別支援教育就学奨励事業

◇育英資金貸付事業

◇奨学金利子助成事業

◇幼児教育無償化事業

◇入園祝い金事業

◇自転車総合保険加入事業

4 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

(1) 「学校応援団」の充実

◇学校応援団活動に対する支援の充実

◇学習ボランティアの活動支援

(2) 家庭教育の充実

◇学習習慣定着のための「家庭生活の約束6か条」及び「ノーテレビ・ノーゲームの日」の推進

◇「彩の国教育の日」及び「彩の国教育週間」における取組の推進

(3) 防犯教育・安全教育・防災教育の推進

◇家庭、地域と連携した安全体制の推進

◇交通安全教育及び防犯教室の実施

◇防災教育及び防災教室の実施

将来、子供たちが困難な問題に直面した際、主体的に対処することのできる実効性のある力を育むために、道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進します。

いじめ問題や様々な課題を抱えた子供たち一人ひとりが、その能力と可能性を開花できるよう、教職員の専門性を高めると共に、専門家と協力しながら、子供たちを全力で支援します。

子供の体力向上や健康教育の充実を図り、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康的な生活が送れるよう推進します。

【重点施策と主な取組】

1 豊かな心を育む教育の推進

(1) 道徳教育の推進

- ◇学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進
- ◇道徳授業研究会の実施や担任と管理職等の TT による授業の実践
- ◇保護者への道徳授業の公開

(2) 人権を尊重した教育の推進

- ◇「人権感覚育成プログラム」の活用の推進
- ◇人権教育・啓発研修への参加の促進

(3) 豊かな体験活動の推進

- ◇埼玉県・埼玉大学・木づかい子育てネットワークとの協力連携による
木育推進事業
 - ・中山小学校
 - ・伊草小学校
- ◇みどりの学校ファームの取組
- ◇キャリア教育の視点を踏まえた中学生社会体験チャレンジ事業の実施

【再掲】

- ◇災害対応を含めたボランティア活動の推進

2 教育相談体制の充実

(1) いじめ・不登校対策の充実

- ◇いじめ問題対策連絡協議会の開催
- ◇学校とSSWと連携した不登校児童生徒の支援
- ◇教育相談体制の充実
 - ・川島町スクーリング・サポートセンター、学校と家庭及びスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員との組織的連携を図りながらの相談支援体制の充実
- ◇中学生学校生活等意識調査（QU）に係る補助事業

3 健康づくりとスポーツの推進

(1) 子供の健康の保持・増進

- ◇学校給食を活用した食育の推進
- ◇学校保健教育推進事業
- ◇フッ化物洗口によるう蝕予防事業

(2) 体力向上の推進と学校体育の充実

- ◇体力向上推進委員会による研究並びに授業研究会の推進
- ◇外部指導者による運動部活動の充実

「生涯学習推進のまち宣言」（平成4年11月）の理念を踏まえ、生涯を通じて学び・活動するための環境を整えます。

役場全庁をあげた学ぶための仕組づくり、地区公民館・各種団体の活動支援、施設利用者の利便性の向上を図ります。

社会教育施設の修繕や工事を実施することで、魅力的な施設づくりを進めるとともに、施設の長寿命化にも取り組みます。

【重点施策と主な取組】

1 生涯学習の推進体制の再構築と実践

(1) 地域学校協働活動（地域ゆめ・みらいづくり事業）の実践と研究

◇地域学校協働活動「地域ゆめ・みらいづくり事業」の実践

◇「令和2年度地域学校協働活動推進に関する研究」（県生涯学習推進課委嘱）

【新規】

(2) 総合型地域スポーツクラブと連携した魅力的なスポーツフェスティバル（町民体育祭）の実施

◇先進事例地の情報収集

◇中学生の部活動支援に資する内容の実施【新規】

◇総合型地域スポーツクラブの活動充実に資する内容の実施【新規】

2 活動・学習のための仕組みづくり

(1) 町内中学校及び、近隣大学との連携強化

◇近隣大学との連携による地域子ども教室・各学習・スポーツ講座の充実

◇地域学校協働活動をプラットフォームにした学校・地域子ども教室・各種
地域団体との連携【新規】

(2) 旧小学校の開放とげんきな地域づくり

◇旧小学校における「つどいの場」の創出【新規】

◇旧小学校における生涯学習講座・スポーツ活動の創出【新規】

(3) 総合型地域スポーツクラブの運営支援

- ◇先進事例地の情報収集の継続
- ◇運営安定化への支援【新規】
- ◇中学生の部活動支援に資する内容の実施への支援【新規】
- ◇プレ事業の実施と登録者増加への支援【新規】
- ◇総合型地域スポーツクラブの種目メニューの増加への支援【新規】

3 地区公民館・各種団体の支援

(1) 地区公民館「魅力UP！」事業の推進

- ◇地区公民館開放事業の充実
- ◇中央公民館講座の充実
- ◇中央公民館による地区公民館サテライト講座の充実

(2) 各種団体の支援

- ◇文化協会と地域子ども教室の事業連携
- ◇スポーツ少年団・文化協会・体育協会への事業助成の継続
- ◇スポーツ少年団への事業助成の継続
- ◇外国人支援事業

4 施設利用者の利便性の向上

(1) 社会教育・体育施設のリニューアル工事

- ◇川島町民体育館照明器具 LED 化工事【新規】
- ◇緊急時対応修繕費の計上

(2) 町立図書館の利便性の向上

- ◇「地域に愛される町立図書館像」の情報収集と研究【新規】
- ◇在架資料のWeb予約の導入【新規】
- ◇学習者への支援機能のPRと相談・情報提供機能の充実
「学習・調べもの応援宣言！」
- ◇夏休み子ども学習支援講座（宿題サポート）の充実
- ◇利用者がくつろげるスペースの充実

「学ぶ楽しさに出会える」魅力的な生涯学習講座の充実を図ります。

「川島町スポーツ都市宣言」（昭和52年1月）の理念を踏まえ、生涯スポーツ活動・講座の充実を図ります。

文化・芸術に親しむ機会を拡充するとともに、文化財の保護活用、および伝統文化継承への支援の充実を図ります。

【重点施策と主な取組】

1 知的好奇心を刺激する講座等の充実

(1) 趣味・教養に関する講座

◇趣味に関する講座

◇教養に関する講座

(2) 地域づくりに関する講座

◇地域の課題を解決するための学習講座・活動

◇ボランティア・地域の課題を解決するための講座

◇食育講座の実施

(3) 家庭教育に関する講座

◇親の学習の実施

◇「親子でチャレンジ」体験講座の実施

(4) 文化・芸術に関するイベント

◇中央文化展の運用方法の再検討と内容の充実

◇生涯学習ふれあいフェスティバルの運用方法の再検討と内容の充実

◇ふれあいミニコンサートの実施

◇ストリートダンスフェスティバルの拡充

(5) 子どもたちの豊かな読書体験の推進

◇としょかん読書マラソンの充実

◇中高生POPコンテストの充実

(6) 子どもの豊かな学習・体験活動の推進

- ◇近隣大学・地域団体と連携した魅力的な地域子ども教室の充実【新規】
- ◇地域子ども楽校事業の実施
- ◇文化協会と地域子ども教室の事業連携

(7) 思いやりを育む人権教育の推進

- ◇近隣博物館等を活用した平和都市宣言をふまえた活動の実施
- ◇「部落差別の解消の推進に関する法律」の周知

2 生涯スポーツの講座・イベントの実施

(1) 健康づくり活動の講座

- ◇ノルディックウォーキング講座の実施
- ◇フロアーカーリングの周知

(2) スポーツ講座・イベントの実施

- ◇2020 東京オリンピック・パラリンピック種目の体験イベント実施
- ◇総合型地域スポーツクラブと連携したスポーツ教室の実施【新規】
- ◇町駅伝競走大会の充実
- ◇かわじま輪中の郷ウォーキングの充実

3 伝統芸能の継承への支援と文化財の保護

(1) 地域に根差した伝統芸能の継承への支援

- ◇郷土芸能祭「～未来に伝えよう万作踊り～」の実施
- ◇伝統芸能団体への活動費補助事業

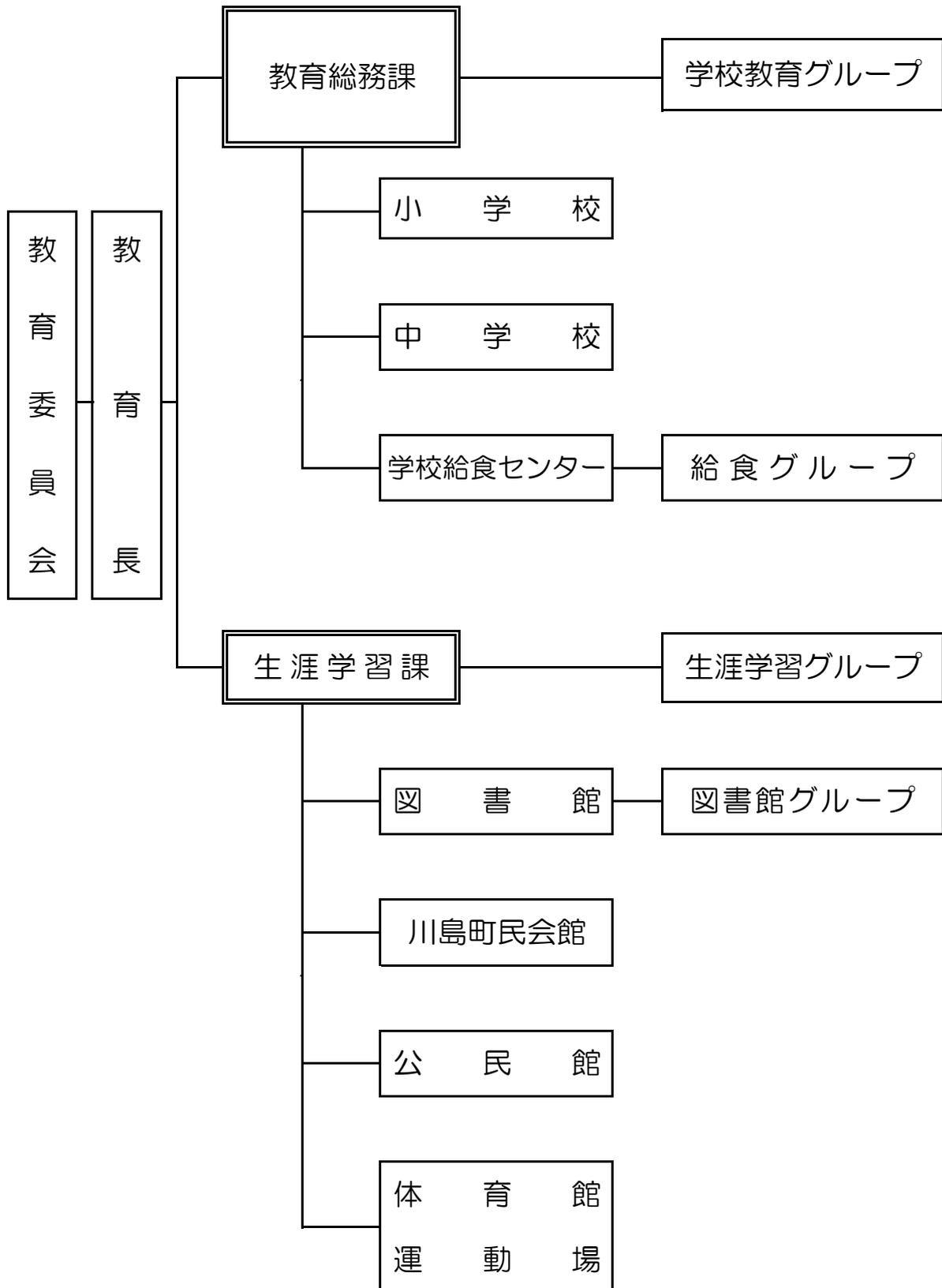
(2) 文化財の保護

- ◇郷土資料館整備に向けた情報収集【新規】
- ◇郷土資料館整備事業の実施と公開【新規】
- ◇伝統芸能の映像記録の保存と活用

教育委員会事務局 事務分掌

課 名	担 当 名	事 務 分 掌
教育総務課	学校教育 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の会議 ・委員会職員人事 ・予算決算の統括 ・義務教育施設の使用 ・教育財産の総括管理 ・教育施設の営繕
		<ul style="list-style-type: none"> ・規則の制定改廃 ・所管の調査統計 ・重要施策及び諸計画の調整 ・教職員の人事・服務・研修 ・児童・生徒・教職員の保健及び安全 ・生徒指導 ・児童・生徒の就学援助 ・学級編制 ・児童・生徒の就学
教育総務課	給 食 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の調理 ・給食の運搬 ・学校給食センター運営委員会の会議 ・給食費の徴収 ・給食材料の購入 ・給食材料の品質検査 ・献立作成 ・衛生管理指導
		<ul style="list-style-type: none"> ・食器の洗浄・消毒 ・給食施設、調理器具の管理 ・給食材料の需要申請 ・物資納入業者の管理 ・アレルギー対応 ・栄養関係諸報告
生涯学習課	生涯学習 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の企画調整 ・社会教育関係団体の育成指導 ・文化芸術の振興 ・文化財の保護、調査、保存管理及び活用 ・文化財の指定及び解除 ・文化財保護思想の普及 ・人権教育の推進 ・人権教育指導者研修・育成 ・人権教育講演会、研修会の開催
		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの推進 ・スポーツ教室の開催 ・社会体育施設管理運営 ・社会体育関係団体の育成指導
	図書館 グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理 ・図書館サービス ・資料の収集整理保存 ・読書普及

教育委員会事務局の機構



学 校 概 要

中山小学校

『「幸せ」な学校をつくろう！』

校長 関口 敬氏 ・所在地 川島町大字中山 1333
 教頭 森田 正登 ・電話 049-297-0029
 ・FAX 049-297-8411



児童・学級数の現況
 (令和2年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	① 29	1
2年生	① 38	2
3年生	③ 45	2
4年生	③ 43	2
5年生	47	2
6年生	51	2
特別支援学級	8	2
合計	261	13

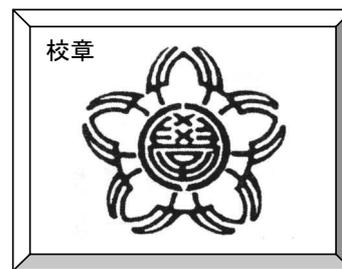
※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい</p> <p>やる気いっぱい (憧れ・夢)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目を見て話を聞く子 めあてをもって学び、よく考える子 自分の思いや考えが言える子 <p>やさしさいっぱい (感動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の目を見てあいさつ、よい返事ができる子 人のよさがわかり、誰にでも思いやりをもって接する子 気づき、考え、行動する子 <p>元気いっぱい (チャレンジ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 腰骨をのばして座れる子 ねばり強く最後までやりとげる子 元気で生活し、外遊び、運動が好きな子 	<p>「『教えるべきことは何か』『育てることは何か』を峻別し、指導にあたる」</p> <p>(1) 学習指導</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日々の授業改善 ②評価の客観性や信頼性の向上 ③道徳教育の充実 ④外国語活動の充実 ⑤プログラミング教育の推進 ⑥特別支援教育の推進 ⑦キャリア・パスポートの取り組み(小・中・高等学校) ⑧読書活動の推進 ⑨家庭学習の定着 <p>(2) 生徒指導</p> <ol style="list-style-type: none"> ①積極的な生徒指導 ②不登校(傾向)児童への対応 ③いじめの防止
<p>学校研究課題</p>	<p>「外国語・外国語活動の指導法の研究」</p> <p>～豊かなコミュニケーション能力を育み、 自分の考えや気持ちを伝えようとする児童の育成を目指して～</p>

学 校 沿 革 の 概 要	
明治 6年 9月	興風学校開校
明治 22年 4月	中山学校と改称
明治 25年 4月	中山尋常小学校と改称
明治 43年 6月	校舎新築
昭和 25年 10月	校舎新築
昭和 34年 10月	校旗、校歌制定
昭和 40年 7月	プール竣工
昭和 54年 3月	校舎改築、屋内運動場新築
昭和 58年 2月	校舎増築
平成 3年 4月	南校舎新築
平成 11年 10月	校舎、体育館大規模改造及び耐震補強工事
平成 18年 3月	校舎西・体育館側防球ネット設置
平成 19年 2月	校舎北側東西門扉改修工事
平成 20年 9月	校舎北側駐車場改修工事
平成 22年 2月	デジタルテレビの設置・太陽光発電設備設置
平成 23年 9月	普通教室エアコン設置
平成 25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成 26年 9月	校舎非構造部材耐震化工事
平成 28年 12月	川島町学校木育推進校として認定
平成 30年 8月	トイレ洋式化工事

伊草小学校

『自分を大切に、仲間を大切に、そして時間を大切に！』
 校長 柳澤 睦夫 ・所在地 川島町大字伊草 238-1
 教頭 新井 雅代 ・電話 049-297-0049
 ・FAX 049-297-8412



児童・学級数の現況
 (令和2年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	43	2
2年生	45	2
3年生	① 35	1
4年生	① 42	2
5年生	43	2
6年生	④ 48	2
特別支援学級	6	2
合計	262	13

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重 点
<p>かかやく子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やさしいっばい (徳育) ○ 学びいっばい (知育) ○ かいっばい (体育) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ い <いつも明るく楽しい学校にしよう> ◎ ぐ <クラスで高め合い、学び合う学校にしよう> ◎ さ <最高の仲間とともに、健康な心と体を育める学校にしよう> ◎ こ <子ども一人一人が主人公になる学校にしよう> ◎ う <美しく、安全な学校にしよう>
学校研究課題	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の創造 ～道徳的価値を高める授業の実践～

学 校 沿 革 の 概 要	
明治 7年 4月	伊草学校創立大聖寺を校舎に充用
明治 9年 5月	角泉学校創設慈眼院を校舎に充用
明治22年 5月	町村制施行と共に伊草及び角泉、安塚、飯島を併せて伊草尋常小学校設置
明治35年10月	現在地に校舎新築
昭和41年 7月	校舎新築・プール竣工
昭和48年 3月	校旗、校歌制定
昭和53年 3月	校舎新築、屋内運動場新築
昭和58年 3月	南校舎新築
平成 2年11月	伊草小PTA文部大臣賞受賞
平成 8年 2月	開校120周年記念式典挙行
平成14年 4月	文部科学省・埼玉県教育委員会学力向上フロンティアスクール研究指定(平成14～16年度)
平成17年12月	新校舎竣工
平成18年 2月	落成記念式典挙行
平成19年 3月	体育館竣工
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成24年 8月	太陽光発電設備設置
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成26年 9月	校舎非構造部材耐震化工事
平成26年11月	プール改修工事
平成28年12月	川島町学校木育推進校として認定

つばさ南小学校

『一人一人が生き生き輝くつばさ南小』

校長 新井 馨
教頭 大畑 秀司

・所在地 川島町大字白井沼945
・電話 049-297-0077
・FAX 049-297-8413



児童・学級数の現況
(令和2年5月1日現在)

	児童数	学級数
1年生	① 15	1
2年生	① 18	1
3年生	18	1
4年生	① 22	1
5年生	④ 15	1
6年生	① 19	1
特別支援学級	8	2
合計	115	8

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>◎教育理念 人皆に美しき種あり ～子供たちは一人一人がよさや可能性を秘めた かけがえのない存在であり、それぞれの持ち味 を生かし育てる教育を展開する～ 一人一人が生き生き輝くつばさ南小</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やさしく(徳) ○ かしこく(知) ○ げんきよく(体) <p>「目指す学校像」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・教職員が生き生きとし、活気あふれる学校(笑顔) ○ 学ぶ楽しさ、学ぶ喜びのある学校(学び) ○ 安全で潤いのあるきれいな学校(潤い) ○ 家庭・地域から信頼される学校(信頼) 	<ul style="list-style-type: none"> (1)学習指導の充実・学習規律の徹底(時・場・礼) (2)豊かな心の育成 (3)運動大好きな子の育成 (4)安全で潤いのある学校づくり (5)人権教育・特別支援教育の充実 (6)開かれた学校づくりの推進
学校研究課題	外国語に慣れ親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

学校沿革の概要	
平成30年 4月	三保谷小学校と出丸小学校が統合し、つばさ南小学校として開校

やさしく(徳)

かしこく(知)

げんきよく(体)

つばさ北小学校

『元気いっぱい、生き生きと活動する学校』

校長 藤田 由美子
 教頭 佐藤 香織

・所在地 川島町大字畑中 31
 ・電話 049-297-0064
 ・FAX 049-297-8415



児童・学級数の現況
 (令和2年5月1日現在)

学年	児童数	学級数
1年生	① 18	1
2年生	① 24	1
3年生	16	1
4年生	② 28	1
5年生	30	1
6年生	22	1
特別支援学級	4	2
合計	142	8

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>《学校像》 元気いっぱい、生き生きと活動する学校</p> <p>《目指す児童像》 気づき、考え、実行する子</p> <p>《学校教育目標》 ○ なかよく ○ かしく ○ たくましく</p>	<p>教職員</p> <p>(1) 人間性豊かな教職員 (2) 資質向上のために自己研鑽に努める教職員 (3) 使命感と責任感を備えた教職員 (4) 心身ともに健康な教職員</p> <p>児童</p> <p>◎ つばさ北小のじまん -いつでも どこでも だれにでも-</p> <p>元気なあいさつ (元気に明るく自分から いつでも だれにでも) ていねいな言葉づかい (時と場に応じて「です」「ます」) きれいな学校 (見えないところも 心もきれいに 感謝の心)</p>
学校研究課題	「言葉を通して、認め合い、高めあうことのできる児童の育成」 ~確かな読解力の育成をめざした主体的・協働的な学習を通して~

学校沿革の概要	
平成30年 4月	ハッ保小学校と小見野小学校が統合し、つばさ北小学校として開校
平成31年 3月	特別支援教室パーテーション工事

川島中学校

『生徒の成長を保障できる学校』

校長 市川 俊実
 教頭 中村 岳人

・所在地 川島町大字白井沼230
 ・電話 049-297-0398
 ・FAX 049-297-0398



生徒・学級数の現況
 (令和2年5月1日現在)

学年	生徒数	学級数
1年生	① 78	3
2年生	② 62	2
3年生	80	3
特別支援学級	3	2
合計	223	9

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>学校教育目標 「知性をみがき 心温かで たくましい生徒の育成」</p> <p>目指す生徒像 「本気」「元気」「勇氣」そして「感謝」 の川中生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「本気」・・・本気で取り組む ○ 「元気」・・・心身の健康 ○ 「勇氣」・・・挑戦し、やり抜く ○ 「感謝」・・・『おかげさまで』 『ありがとう』の心を養う 	<p>学校経営方針及び重点・努力点 「寄り添い、鍛えて、磨いて、伸ばす」</p> <p>1 確かな学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎・基本の確実な定着。 ② 個々の生徒に応じたきめ細かな学習指導の充実。 ③ 主体的に学ぶ態度の育成。 ④ 学習状況調査結果の分析と活用の充実 ⑤ 教師の指導力向上を目指した校内研修の充実。 <p>2 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 心のふれあいに努め、信頼関係を確立する。 ② 意図的なリーダー育成を図り、自主・自立・自治能力を高める。 ③ 生徒指導に対する教職員全員の理解を高め、共通行動を実践する。 <p>3 学校が核となった、家庭・地域ぐるみの教育の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 家庭・地域への積極的な公開と情報発信に努める。 ② 地域の教育力を積極的に導入する。 ③ 学校評価の検証と改善に努める。
学校研究課題	「主体的・対話的に深く学び合い、学力向上を目指す授業の工夫改善」

学 校 沿 革 の 概 要	
昭和33年 9月	三保谷、八ッ保中学校を統合して川島中学校となり八ッ保に分教場を置く。
昭和33年 11月	新校舎起工式挙行
昭和34年 4月	伊草、小見野中学校を廃止、川島中学校に統合し両校分教場となる。
昭和35年 4月	中山、出丸中学校を廃止、川島中学校に統合。本校舎竣工
昭和36年 1月	校舎第二期工事竣工
昭和36年 4月	分教場を廃止し、全生徒を収容。9月30日を「開校記念日」に制定。
昭和37年 2月	校旗、校歌制定
昭和37年 3月	屋内運動場新築
昭和37年 7月	プール竣工
昭和61年 3月	屋内運動場改築
平成 8年 3月	校舎改築
平成14年 11月	県・町教育委員会委嘱「豊かな心と体を育む学校給食」研究発表
平成18年 8月	コンピューター教室改装、ウィンドウズXP対応パソコン導入
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成22年 11月	川島中統合50周年記念事業記念式典挙行
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成27年 9月	校舎非構造部材耐震化工事

西中学校

『「大きな世界で活躍できる人材を育成する」学校』

校長 忍田 壽生
 教頭 大島 秀之

・所在地 川島町大字中山270-1
 ・電話 049-297-2427
 ・FAX 049-297-2437



生徒・学級数の現況

(令和2年5月1日現在)

学年	生徒数	学級数
1年生	② 75	2
2年生	② 78	3
3年生	② 81	3
特別支援学級	6	2
合計	240	10

※丸数字は、特別支援学級児童

教育目標	重点
<p>目指す学校像</p> <p>○学ぶ ○鍛える ○思いやる</p> <p>学校教育目標</p> <p>「さすが西中生！自分の花を見つけよう」を合言葉に</p> <p>生徒に夢を持たせ、心の根を育てる</p>	<p>◎指導の重点 ～具体的な実践～ ★目指す生徒の姿</p> <p>◎基礎・基本の確実な定着と、それを活用した授業を実践する</p> <p>～指導方法を改善し、わかる楽しい授業を展開する～</p> <p>★主体的に学ぶ（教科書や書籍から・他者の考え方を通して）</p> <p>★対話を通して学ぶ（ペア、トリオ、グループ、集団）</p> <p>★家庭学習と読書の充実</p> <p>◎体と心を鍛え、つらいことや苦しいことに負けない体や心をつくる</p> <p>～運動の楽しさや必要性を学び、できる喜び 挑戦することのすばらしさを味わわせる指導方法を工夫する～</p> <p>★進んで運動する ※得意なことを見つける</p> <p>★苦手なことでもできるまで努力する</p> <p>★自分が努力したことを自信にして次に進むことができる</p> <p>◎自分を大切に、仲間を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性をはぐくむ</p> <p>～道徳教育・学級活動を充実させ、いじめは許さない学級をつくる～</p> <p>★元気にあいさつ・返事ができる</p> <p>★友達と仲良く協力する</p> <p>★他者の思いを汲み取り、行動できる</p>
学校研究課題	<p>「学習意欲を高める集団づくり」</p> <p>～良好な人間関係づくりを通して～</p>

学校沿革の概要	
平成 3年10月	校名制定
平成 4年 4月	起工式
平成 4年11月	校章制定
平成 5年 3月	校舎・体育館完成
平成 5年 4月	川島中学校より分離開校
平成 5年 6月	プール竣工
平成 5年12月	校歌制定
平成 6年 2月	6月7日を開校記念日に制定。
平成10年 8月	第28回全国中学校バドミントン大会で優勝
平成11年 8月	第29回全国中学校バドミントン大会で優勝
平成14年11月	創立10周年記念式典
平成16年 6月	「平成16年度中学生奉仕社会体験活動推進事業」県教委委嘱
平成17年 4月	「平成17年度彩の国パイオニアスクール」県教委指定
平成19年 4月	「生徒指導研究推進事業」町教委指定
平成22年 2月	デジタルテレビの設置
平成22年 6月	校庭改修工事
平成23年 9月	普通教室にエアコン設置
平成24年 6月	埼玉県教育委員会委嘱「教育に関する3つの達成目標」の推進に関する研究
平成25年 9月	体育館非構造部材耐震化工事
平成27年 4月	埼玉県教育委員会委嘱「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり研究推進校」
平成27年 5月	川島町教育委員会委嘱「生徒の社会性育成を目指したスキル教育と道徳教育を関連させた学習活動の工夫」
平成27年 9月	太陽光発電設備設置・蓄電池設備設置
平成28年 6月	特別教室にエアコン設置
平成28年 8月	校舎非構造部材耐震化工事
平成29年 6月	埼玉県教育委員会委嘱「道徳教育研究推進モデル」
平成30年11月	埼玉県教育委員会委嘱「道徳教育研究推進モデル校」本発表
令和元年 5月	川島町教育委員会「進路指導・キャリア教育の充実」
令和元年 11月	25地区進路指導・キャリア教育発表

学校施設

(1) 校地 (令和2年5月1日現在)

単位：㎡

学校	校地			合計	屋外運動場 1人当たり 面積
	建物敷地	屋外運動場	その他		
中山小学校	8,057	5,003		13,060	19.2
伊草小学校	7,150	7,301		14,451	27.9
つばさ南小学校	5,055	6,033		11,088	52.5
つばさ北小学校	4,593	7,400		11,993	52.1
計	24,855	25,737		50,592	33.0
川島中学校	13,499	11,702	2,631	27,832	52.5
西中学校	12,925	13,939		26,864	58.1
計	26,424	25,641	2,631	54,696	55.4
学校給食センター	3,757			3,757	

(2) 校舎 (令和2年5月1日現在)

単位：㎡

学校	建物 区分	保有建物面積							
		一般校舎				屋内運動場			
		鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	木造	計	1人 当たり 面積	鉄筋 コンクリート	鉄骨 その他	1人 当たり 面積
中山小学校		4,623	34		4,657	17.8	1,019		3.9
伊草小学校		4,218			4,218	16.1	902		3.4
つばさ南小学校		1,685	46		1,731	15.1		733	6.4
つばさ北小学校		1,706			1,706	12.0		733	5.2
計		12,232	80	0	12,312	15.8	1,921	1,466	4.3
川島中学校		5,941	52		5,993	26.9		1,269	5.7
西中学校		6,656			6,656	27.7	1,937		8.1
計		12,597	52	0	12,649	27.3	1,937	1,269	6.9
学校給食センター			1,327		1,327				

児童・生徒数一覧

小 学 校

令和2年5月1日現在

学 校		学 年							
		1	2	3	4	5	6	特	計
中山小学校	児童数	① 29	① 38	③ 45	③ 43	47	51	8	261
	級数	1	2	2	2	2	2	2	13
伊草小学校	児童数	43	45	① 35	① 42	43	④ 48	6	262
	級数	2	2	1	2	2	2	2	13
つばさ南小学校	児童数	① 15	① 18	18	① 22	④ 15	① 19	8	115
	級数	1	1	1	1	1	1	2	8
つばさ北小学校	児童数	① 18	① 24	16	② 28	30	22	4	142
	級数	1	1	1	1	1	1	2	8
合 計	児童数	③ 105	③ 125	④ 114	⑦ 135	④ 135	⑤ 140	26	780
	級数	5	6	5	6	6	6	8	42

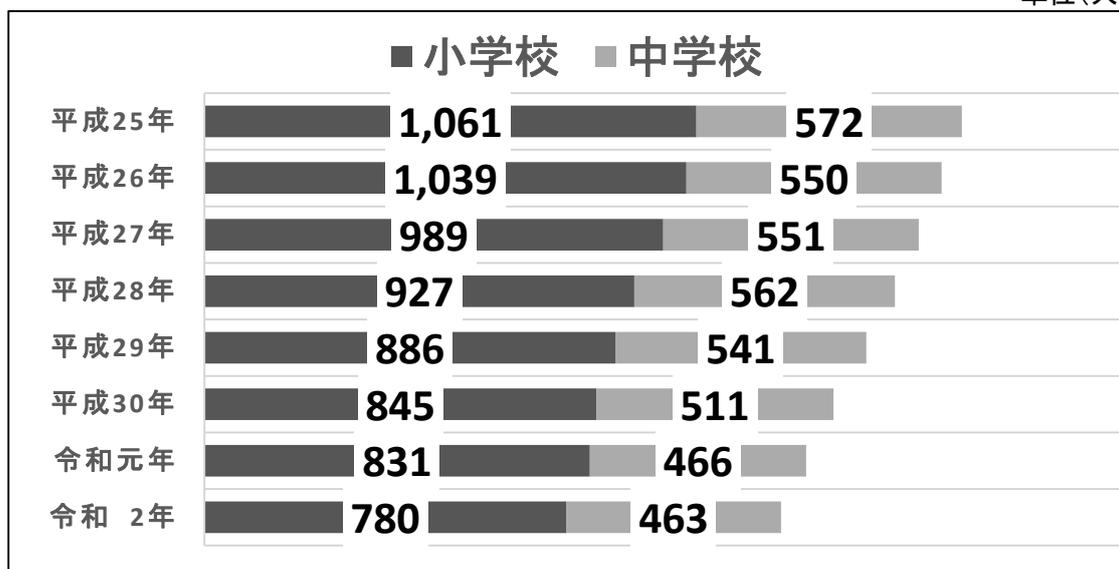
中 学 校

学 校		学 年				特学	計
		1	2	3			
川島中学校	生徒数	① 78	② 62	80	3	223	
	級数	3	2	3	2	10	
西中学校	生徒数	② 75	② 78	② 81	6	240	
	級数	2	3	3	2	10	
合 計	生徒数	③ 153	④ 140	② 161	9	463	
	級数	5	5	6	4	20	

※丸数字は特別支援学級生徒

児童・生徒数の推移

単位(人)



町立小・中学校教職員数

令和2年5月1日現在

区分	小学校								中学校				計	
	中山小		伊草小		つばさ南小		つばさ北小		川島中		西中			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
(県費職員)														
校長	1		1		1			1		1		1		6
教頭	1			1	1			1		1		1		6
主幹教諭		1												2
教諭	9	8	7	9	5	5	5	4	12	4	14	6	88	
助教諭								1	1		1		3	
養護教諭		1		1		1		1		1		1	6	
栄養教諭										1			1	
事務職員	1		1		1			1	1		1		6	
講師		1											1	
小計	12	11	9	11	8	7	6	9	15	6	17	8	119	
(町費会計年度任用職員)														
特支支援員	3	1		4		3		2		2	1	3	19	
さわやか相談員									1		1		2	
校務員	1		1	1		1		2		※1		※1	8	
給食補助員		1		1						1		1	4	
きめ細かい教育推進教諭											1		1	
学校司書						1		1					2	
外国語支援員		1		1		1		1					4	
小計	4	3	1	7	0	6	0	6	1	4	3	5	40	
合計	30		28		21		21		26		33		159	

※正規職員

※学校司書はつばさ南小学校とつばさ北小学校を兼務しています。

※外国語支援員は中山小学校とつばさ南小学校、伊草小学校とつばさ北小学校をそれぞれ兼務しています。

川島町学校給食センター

1 施設概要

(1) 所在地	比企郡川島町大字上八ツ林 798-1		
(2) 電話	049 - 297 - 0260 FAX 049 - 297 - 0230		
(3) 建築年	平成 3年 6月		
(4) 建築面積	3,754 m ²		
(5) 建物	鉄骨造一部2階建	1 階	1,063.50 m ²
		2 階	174.50 m ²
		合計	1,238.00 m ²

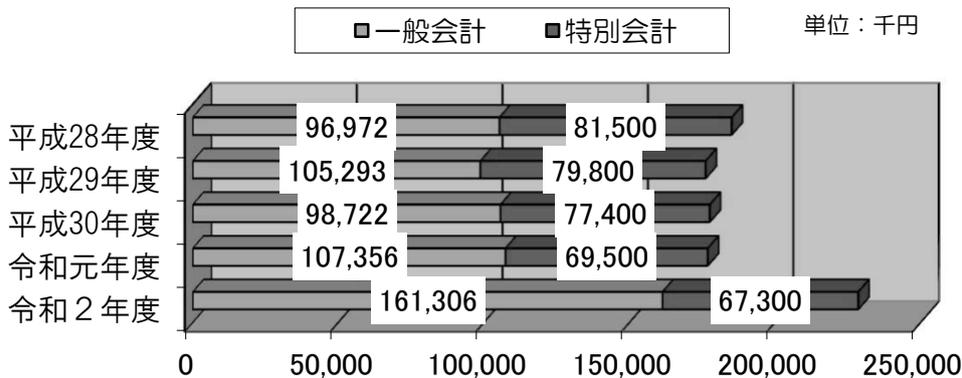
2 運営の基本方針

児童生徒に対して栄養のバランスに配慮した食事を提供し、望ましい食習慣の形成や良き人間関係を育成することなどをねらいとして実施しており、生涯にわたる健康づくりの基礎を培うことを目的としています。

3 職員

(1) 事務職員	4人	(うち県学校栄養技師 1人)
(2) 労務委託職員	16人	(ボイラー運転・調理・洗浄)

4 学校給食費予算 (当初)



5 学校給食人員 (令和2年5月1日現在)

(1) 小学校	866 人
(2) 中学校	512 人
(3) センター	20 人
合計	1,398 人

6 給食実施予定回数

1 学期…64回	2 学期…73回	3 学期…49回	合計190回	年度当初計画
1 学期…39回	2 学期…82回	3 学期…50回	合計171回	学校再開決定後

7 給食費

(1) 児童1人当たり	月額	4,000 円
(2) 生徒1人当たり	月額	4,900 円

8 学校給食の7つの目標（学校給食法第2条より）

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

9 学校給食センター運営委員会の実施

学校給食センター運営の指針を示し、学校給食の適正かつ円滑な運営を図るために設置し、運営に関する重要な事項について審議するとともに、必要な調査、研究を行う。

【委員】

- | | |
|-------------|-----------------|
| (1) 各小・中学校長 | (2) 各小・中学校PTA代表 |
| (3) 保健所長 | (4) 校医代表 |
| (5) 学識経験者 | (6) 公募による町民 |

10 重点的な取り組み

- (1) 食育の推進(授業や試食会により、児童・生徒及び保護者へ食の重要性を啓発)
- (2) 地産地消の推進（地元産物の積極的な使用）
- (3) 行事食・伝統食の献立化（七夕献立、すったて、呉汁などの提供）



栄養士による食育授業

III 生涯學習

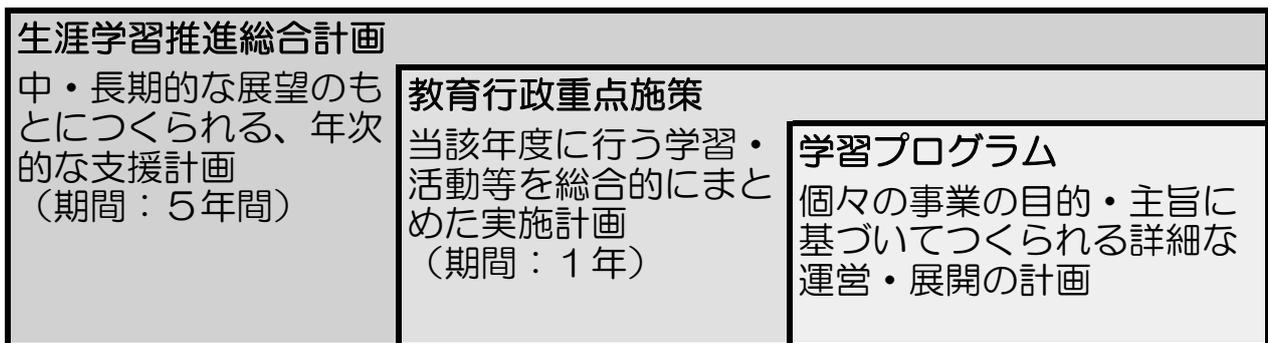
3 生涯学習の施策体系（生涯学習推進総合計画）

計画の施策体系は、以下のとおり基本目標、施策、主な取り組みで構成されています。



4 生涯学習推進総合計画と年間事業計画の位置づけ

本計画は、総合振興計画の下位計画となります。生涯学習に関する諸計画は、本計画を最上位計画とし、以下のとおりの構成になっています。本計画の下位計画として、教育行政重点施策、さらにその下位計画として、学習プログラムが位置付けられます。

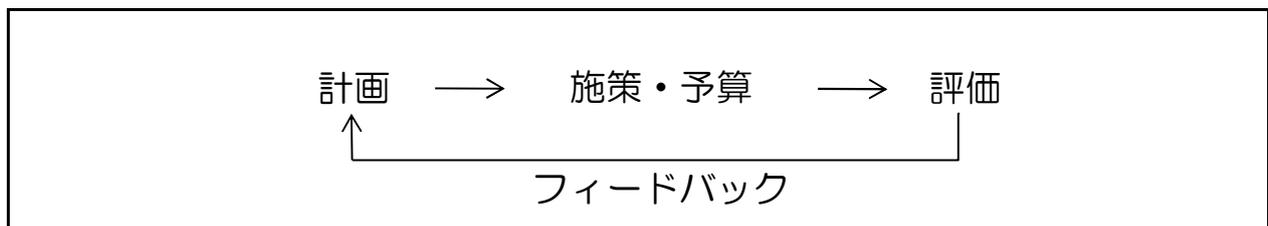


5 年間事業計画設定

年間事業計画である教育行政重点施策は、総合振興計画・生涯学習推進総合計画をふまえた上で決定します。具体的な各種取組は、広報紙、全戸配布、町ホームページ、かわべえメール等を活用して周知します。

6 事業評価

評価の方法は、教育行政重点施策に掲げた目標を評価します。具体的には、まずは職員による自己評価を行い、次に学識経験者による第三者評価を行います。その結果は、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」としてまとめ、町ホームページ等で公表します。



第5次川島町生涯学習推進総合計画の概要

基本理念

1人ひとりの輝きで
つなげる未来のまちづくり

3つの観点

- 学習活動のきっかけづくり
- 多様な学習機会の提供
- 学びを活かしたコミュニティづくり

基本目標	主要施策	主な取り組み
1 生きがいづくりと多様な学習活動の振興と支援	(1) 社会教育委員等の活動推進 (2) 社会教育団体の育成と活動支援 (3) 生涯学習推進体制の整備 (4) 各種教養講座の開催 (5) 社会教育施設、教育機関との連携促進	① 社会教育委員・生涯学習推進会議の活動推進 ① 文化協会・体育協会の活動支援 ② サークル活動団体の育成と支援 ③ 活動団体の主催する自主講座の開催支援 ④ 子ども会活動の充実と活動支援 ① 学校規模適正化に伴う、空き教室などの有効活用検討 ② コミセン・フラットピア・公民館・図書館の整備 ③ 学習情報提供 ④ 学芸員の配置 ⑤ 社会教育主事と社会教育指導員の配置 ⑥ 図書館司書の配置 ⑦ 地区公民館活動の活性化 ① 各種教養講座の開催 ① 大学・NPO・民間事業者等との連携 ② 町外の社会教育施設との連携
2 子どもを育む地域の教育力の向上	(1) 異年齢による子どもの体験学習推進 (2) 子どもの体験学習指導者の育成・支援 (3) 社会教育と学校教育の連携推進	① 地域子ども教室・キッズプラザの充実 ② 青少年交流事業 ① 指導者の発掘 ② 指導者養成セミナーの開催 ① 学校・PTA・地区公民館・学童保育連携による地域子ども教室の開催 ② 学校応援団と地域子ども教室の連携検討 ③ 図書館と学校の連絡会開催
3 家庭の教育力の向上	(1) 子どもの発達に応じた親の学習機会の提供 (2) 家庭教育情報の提供 (3) 子育て機関の連携および親子の活動機会の提供 (4) 家庭の教育力向上のための調査研究	① 「親の学習」の開催 ② PTAと連携した家庭教育セミナーの開催 ① 広報紙・ホームページを活用した家庭教育情報の提供 ① 子育てに関する社会教育・母子保健部門子育て支援センター・保育園子育てサークル等の連携支援 ② 親子教室等の開催 ① 家庭の教育力向上のための事例研究・調査

<p>4 健康づくりとスポーツ推進</p>	<p>(1)子どもの体力づくり (2)成人期の健康づくり (3)高齢期の健康維持 (4)町民の健康増進支援</p>	<p>①スポーツ少年団の活動支援と指導者の育成 ①ウォーキング・体操などスポーツの普及・充実と、スポーツ・保健・健康部門が連携した事業の実施 ①介護部門と連携した介護予防教育 ②健康部門と連携した健康教育 ①健康増進のためのスポーツ教室等開催</p>
<p>5 文化芸術振興と伝統文化の継承</p>	<p>(1)文化・芸術活動の充実 (2)文化財の保護・活用</p>	<p>①中央文化展・生涯学習町民ふれあいフェスティバルの充実 ②「文芸かわじま」の充実 ①町内に存在する文化財の把握・調査 ②既存施設を利用した資料館の整備 ③案内板設置・解説資料等の作成 ④古農具・古民具の収集・保管と展示</p>
<p>6 地域社会の変化に対応する学習の推進</p>	<p>(1)男女共同参画に関する学習 (2)人権学習 (3)国際交流の推進 (4)情報化社会に対応する学習 (5)ボランティア活動の推進 (6)図書館機能を活かした学習支援</p>	<p>①男女共同参画に関する学習機会の充実 ②男性の子育て参加に関する学習の充実 ③男女共同参画に関する情報の提供 ①人権教育講演会の開催 ②視聴覚メディアの充実 ①ホームステイの受入・ホストファミリーの確保 ②通訳・語学ボランティアの養成 ③地域における国際交流の推進 ①パソコン・インターネットに関する講座の開催 ①人材バンクの充実と活用 ②ボランティアの養成、活動場所の紹介・相談支援 ③成人式実行委員経験者との連携 ④学校応援団、学校ボランティアの充実 ①課題解決のための情報提供 ②県立及び近隣図書館とのネットワークを活かしたレファレンスサービスの充実 ③本に親しむための学習機会の提供</p>

IV 社会教育

社会教育施設の概要

名称、所在地ならびに連絡先	主 な 施 設	建設年度
川島町コミュニティセンター 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	面積 1,377 m ² ・和室 (2部屋) ・談話室 ・会議室 (3部屋)	昭和55年度
ふれあいセンターフラットピア川島 川島町八幡 6-1-2 TEL 049-297-1117 FAX 049-297-7773	面積 636 m ² ・多目的ホール ・研修室 ・調理室 ・和室	平成10年度
川島町民体育館 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 2,475 m ² ・体育館 (アリーナ) 1,134 m ² ・卓球室 148 m ² ・多目的室 148 m ² ・ラジック コース(1周) 130 m	昭和55年度
総合運動場 川島町大字下八ツ林 930 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 24,045 m ² ・運動場 20,895 m ² 野球場1面、ソフトボール場2面 照明施設(野球・ソフト) テニスコート(4面) 3,150 m ²	昭和47～ 50年度 ※照明58年度
出丸運動場 川島町大字出丸下郷 1025 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	・南運動場 11,289 m ² ・北運動場 10,311 m ² 野球場(北・南) 1面 ソフトボール場(南) 2面 ソフトボール場(北) 2面	昭和59年度
川島町ゲートボール場 川島町大字白井沼 457 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	・クレイコート(2面) 1,208 m ²	昭和55年度
川島町武道館 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 1,124 m ² ・柔道場 420 m ² ・剣道場 420 m ²	昭和61年度
川島町弓道場 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	総面積 231 m ² ・射場(3人立ち) 63 m ² ・的場 16 m ² ・矢道 151 m ²	平成元年度
かわじま窯 川島町大字下八ツ林 923 TEL 049-297-1611 FAX 049-297-6710	面積 79 m ² (鉄骨造・平屋建) ・陶芸窯1基 ・電動ろくろ3台	昭和63年度
※川島町民会館 川島町大字下八ツ林 926-1 TEL 049-297-1667 FAX 049-297-6710	総面積 1,994 m ² ・ホール ・アリーナ ・研修室 ・会議室1 ・会議室2	昭和61年度

※文化施設

公民館概要

中央公民館 (コミュニティセンター内)

令和2年4月1日現在

所在地		比企郡川島町大字下八ツ林923		Tel 049 - 297 - 1611	
職員		館長 小久保 聡 (兼)		主事 友光 敏之(兼) 守屋 紗矢香(兼)	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和 55年度	
	建物面積	1,377.00 m ²	敷地面積	8,000.00 m ²	
	駐車場	有	収容台数	200台	
	施設概要	和室①(27畳)、和室②(18畳)、会議室①(100m ²)、 会議室②(50m ²)、会議室③(50m ²)、談話室(50m ²)			
	その他特徴的なこと ・コミュニティセンターとの共有施設				
休館日		12月29日～1月3日			
開館時間		8:30～21:00			
運営方針	<p>I. 生きる力と豊かな心に満ちた人間の育成</p> <p>II. すこやかで明るく、仲良く助け合い、社会に貢献する家庭の育成</p> <p>III. 人権教育の推進</p> <p>IV. 町民の健康増進と生涯スポーツの推進</p> <p>V. 地区公民館とは趣き、規模の異なる事業を開催する。</p> <p>VI. 地区公民館の連絡調整を行う。</p>				
公民館運営審議会	<p>年間開催回数及び審議事項(中央公民館、地区公民館共通の委員)</p> <p>開催回数 年4回</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業や公民館運営に関する諸課題について ・その他 				
<p>館運営の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館は町民の要請に沿った広範な事業を開催する。 <p>また、地区公民館の連絡調整を行う。</p>					
<p>事業の特徴(館として特に力を入れていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を目標として、様々な体験学習の機会を提供する地域子ども教室を開催しており、また、親子や高齢者等が気軽に参加できる様々な事業も取り入れている。 					

令和2年度の主な事業（中央公民館）

事業名	時期	対象
第8回輪中の郷ウォーキング	令和2年4月29日(祝・水) (新型コロナウイルスの為に中止)	一般
地域子ども教室開始	令和2年5月～令和3年3月 (新型コロナウイルスの為に中止)	小学生
町民球技大会(各種競技)	令和2年5月～8月 (新型コロナウイルスの為に中止)	一般
「むさしの国」ふるさと文学散歩	令和2年6月3日(水) (新型コロナウイルスの為に中止)	一般
親の学習	各小学校就学時健診時	新入学児童の保護者
第40回川島町中央文化展	令和2年10月31日(土)～ 11月4日(水)	幼稚園児・保育園児 小中学生 一般
かわじまスポーツフェスティバル2020	令和2年11月3日(祝・火)	一般
生涯学習町民ふれあいフェスティバル	令和2年11月3日(祝・火)	一般
町駅伝競走大会	令和2年11月15日(日)	一般
成人式	令和3年1月10日(日)	平成12年4月2日から 平成13年4月1日までに 生まれた方
彩の国さいたま郷土かるた川島大会	令和3年1月23日(土)	小学生
彩の国さいたま郷土かるた県大会	令和3年3月7日(日)	小学生
ふるさと歴史講座	令和3年2月	一般
各種教養講座	随時開催	講座内容により変更
各種スポーツ教室	随時開催	小学生、その他一般

中山公民館

所在地		比企郡川島町大字中山 1317-1		TEL 049 - 297 - 1802	
職員		館長 後藤 務		主事 関口 智巳	
施設	構造	鉄筋コンクリート		建設年度	昭和 46年度
	建物面積	365.98 m ²		敷地面積	1,900.00 m ²
	駐車場	有		収容台数	30 台
	施設概要	1階和室（33畳）、2階会議室（約77m ² ）、調理室			
館運営の基本方針					
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を通じた共助体制構築と情報発信で、地域の防災能力の向上と活性化を図る。 ・地域の方々が集まりやすい公民館事業の展開をする。 ・社会環境の変化に対応し、住民と一緒に歩んでいける公民館事業を推進する。 					
事業の特徴（館として特に力を入れていること）					
<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り大会、地区体育祭、敬老会を三大事業として、それぞれに地域住民を中心とした実行委員会を組織し、誰もが気軽に楽しく参加できる事業を推進する。 					

伊草公民館

所在地		比企郡川島町大字伊草 230		TEL 049 - 297 - 0004	
職員		館長 池野谷 賢司		主事 水野 呈	
施設	構造	鉄筋コンクリート		建設年度	旧館 昭和 48年度 新館 平成 2年度
	建物面積	旧館 363.42m ² 新館 257.56m ²	敷地面積		1,606.66 m ²
	駐車場	有		収容台数	25 台
	施設概要	旧館：1階和室（27畳）、2階会議室（約77m ² ）、調理室 新館：1階和室（48畳）、2階会議室①（約46m ² ） 会議室②（約43m ² ）			
館運営の基本方針					
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な公民館開放を行い、コミュニティの育成に努め、生涯学習の拡充を図る。 					
事業の特徴（館として特に力を入れていること）					
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能の保存に力を入れ、文化祭等ではその発表の場を提供している。 					

三保谷公民館

所在地		比企郡川島町大字白井沼 907	TEL 049 - 297 - 0175
職員		館長 佐藤 榮	主事 木村 敏光
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度 昭和 62年度
	建物面積	466. 25 m ²	敷地面積 2, 730. 00 m ²
	駐車場	有	収容台数 40 台
	施設概要	和室(24畳)、和室(10畳) 大会議室(約130m ²)、小会議室(約30m ²)	
館運営の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方が公民館を拠点の場とし、参加しやすい事業展開をする。 			
事業の特徴(館として特に力を入れていること)			
<ul style="list-style-type: none"> ・生け花教室、山野草展、文化祭を開催し、地域の文化活動の拠点としている。 ・盆踊り大会、地区体育祭、ふる里敬老芸能祭の事業に対し、一人でも多くの地域住民の方が参加できるよう事業推進する。 			

出丸公民館

所在地		比企郡川島町大字上大屋敷 144-1	TEL 049 - 297 - 0010
職員		館長 笹岡 留義	主事 卯月 利幸
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度 昭和 48年度
	建物面積	338. 80 m ²	敷地面積 1, 500. 00 m ²
	駐車場	有	収容台数 50 台
	施設概要	1階和室(30畳)、2階会議室(約90m ²)、調理室	
館運営の基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の学習要求にこたえられるような事業を推進する。 			
事業の特徴(館として特に力を入れていること)			
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成地域の集いを実施し青少年の育成に努める。 ・各種使用団体が当番を決め、清掃活動を実施している。 			

八ツ保公民館

所在地		比企郡川島町大字畑中 341	TEL 049 - 297 - 0008	
職員		館長 深谷 達夫		
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和 50年度
	建物面積	352.80 m ²	敷地面積	2,000.00 m ²
	駐車場	有	収容台数	90 台
	施設概要	1階和室（30畳）、2階会議室（約90m ² ）、調理室		
館運営の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりと生涯学習の拠点となるべき事業を推進する。 				
事業の特徴（館として特に力を入れていること）				
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級 ・スポーツ大会等を実施し愛好者を通じてコミュニティの育成に努める。 				

小見野公民館

所在地		比企郡川島町大字谷中 251-1	TEL 049 - 297 - 1801	
職員		館長 安田 勝美	主事 田中 裕康	
施設	構造	鉄筋コンクリート	建設年度	昭和 54年度
	建物面積	406.93 m ²	敷地面積	1,888.00 m ²
	駐車場	有	収容台数	50 台
	施設概要	1階和室（33畳）、2階会議室（約70m ² ）、調理室		
館運営の基本方針				
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の拠点として、だれでも、いつでも、学習できるように運営する。 				
事業の特徴（館として特に力を入れていること）				
<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り大会・敬老芸能大会・文化祭 ・茶道・着付教室等を取り入れ、地域の文化活動の拠点としている。 				

川島町立図書館

1 施設概要

- (1) 本館
- ・所在地 比企郡川島町大字下八ツ林 901
 - ・電話 049-297-6030
 - ・FAX 049-297-6060
 - ・開館年 昭和61年9月
 - ・建物 鉄筋コンクリート 2階建て 871㎡

2 利用

- (1) 登録
- ・川島町に住んでいる方、通勤・通学している方、団体
 - ・比企広域市町村圏の構成市町に在住・通勤・通学している方
 - ・川越都市圏まちづくり協議会（レインボー協議会）の構成市町在住している方
- (2) 貸出
- ・個人

一般書・雑誌	合わせて10冊まで	2週間
児童書・紙芝居	合わせて20冊まで	2週間
CD（中学生以上）	2点まで	2週間
DVD（中学生以上）	1家族1枚まで	1週間
 - ・団体 図書・紙芝居 100冊まで 3週間

3 運営の基本方針

図書館は、市民の求める図書資料を正確迅速に提供していくと共に、常に新しい情報の図書資料を備え、文化と生活の向上に役立つよう努める。

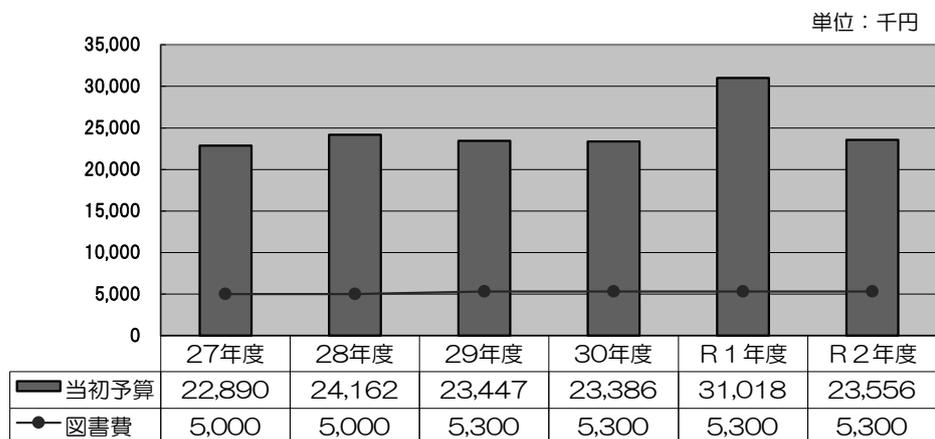
4 令和2年度の重点施策

- (1) 図書館利用の推進（各種事業による図書館利用の推進）
 (2) 児童サービスの充実（児童図書の整備・学校との連携）
 (3) 資料提供体制の充実（社会情勢や利用者ニーズに沿った資料の収集）

5 職員

館長（生涯学習課長兼務）、副館長（会計年度任用職員）、職員1名、その他（会計年度任用職員2名、業務委託4名）

6 図書館予算



7 蔵書統計（令和2年3月31日現在）

一般書	74,300 冊
児童書	40,040 冊
合計	114,340 冊

A V	2,374
新聞	7 紙
雑誌	70 誌

8 図書館利用統計（令和元年度開館日数 270日）

入館者数 (人)	貸出数				合計 (点)	リスト (件)
	一般書	児童書	雑誌	A V		
28,636	36,268	54,357	4,622	2,134	97,381	3,875

9 活動指標

(1) 登録率

$$\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100 = \frac{17,785 \text{ 人}}{19,863 \text{ 人}} \times 100 = 89.5\%$$

※有効期限切れ含む

(2) 1日平均貸出冊数

$$\frac{\text{総貸出冊数}}{\text{開館日数}} = \frac{97,381 \text{ 点}}{270 \text{ 日}} = 360.7 \text{ 冊}$$

※団体貸出分含む

(3) 町民1人当たり蔵書冊数

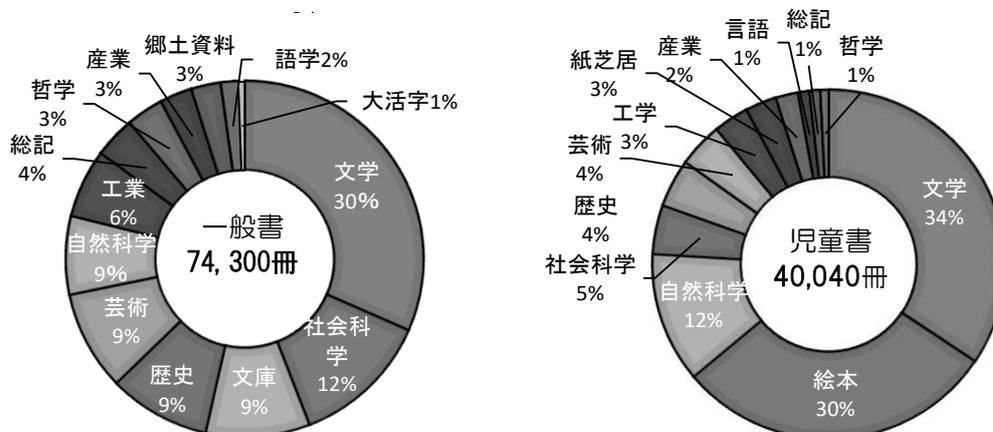
$$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}} = \frac{114,340 \text{ 冊}}{19,863 \text{ 人}} = 5.8 \text{ 冊}$$

(4) 人口一人当たり図書費

$$\frac{\text{R2年度図書費}}{\text{人口}} = \frac{5,300 \text{ 千円}}{19,863 \text{ 人}} = 266.8 \text{ 円}$$

※人口は、令和2年4月1日現在

10 蔵書構成



11. 令和2年度 事業予定

事業名	対象	時期
おはなし会	乳幼児・児童 保護者	毎月第1火曜日（4か月～2歳） 毎月第2火曜日（2歳～4歳） 毎月第4日曜日（どなたでも）
ブックスタート	乳児・保護者	4・5か月乳児健診時
朗読ボランティア研修	朗読ボランティア	未定
こどもの読書週間イベント 「こんな本、どう？」	小学生～高校生	4月23日～5月12日
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせボランティア 一般	未定
「地域子ども教室」出張おはなし会	小学生	新型コロナウイルスのため中止
夏休み自由研究・宿題サポート	小学生	8月5・6・7・12日
としょかん読書マラソン	小学生	9月16日～12月16日
中高生POPコンテスト	中高生	8月1日～9月20日
ブックリサイクル	一般	11月3日
玄関のテーマ展示	一般・児童	毎月
図書館だより	一般 児童 企業	毎月（広報かわじまに掲載） 毎月（小学生全員に配布） 年4回（24社）
図書館カレンダー	一般	年4回
「広報かわじま」朗読CD吹き込み・貸出	視覚障害者	毎月
団体貸出	小学校・保育園 学童クラブ 特別支援学校	随時



夏休み自由研究・宿題サポート



ブックリサイクル

川島町スポーツ少年団 一覧

No.	団体名	活動種目	主な活動場所
1	中山スポーツ少年団	バレーボール・サッカー	中山小体育館・グラウンド
2	伊草スポーツ少年団	バレーボール	伊草小体育館
3	三保谷スポーツ少年団	サッカー	防災基地グラウンド
4	柔道スポーツ少年団	柔道	川島町武道館
5	川島ライオンズスポーツ少年団	野球	防災基地グラウンド
6	JJFスポーツ少年団	バスケットボール	町民体育館
7	川島剣道スポーツ少年団	剣道	川島町武道館
8	T C A 川島走遊会	ランニング	旧小見野小学校・平成の森公園

川島町スポーツ協会加盟団体一覧

No.	団体名	代表者
1	野球連盟	馬場 武男
2	バレーボール連盟	神田 隆
3	バドミントン連盟	馬橋 俊男
4	インディアカ連盟	鈴木 義史
5	サッカー協会	矢部 勝宏
6	ソフトテニスクラブ	道祖土義之
7	剣道連盟	為谷 健一
8	柔道会	町田 文夫
9	空手道	澤田 和夫
10	ほなみ会（民踊）	福島 道子
11	ゴルフ協会	尾藤 敏明
12	スキー連盟	野澤 経雄
13	卓球連盟	佐々木義文
14	グラウンド・ゴルフ連盟	吉田 俊夫
15	合気道川島町同好会	馬場 孝師
16	バスケットボール	尾藤 諒

川島町文化協会加盟団体一覧

No.	団体名	代表者
1	川島町書道愛好会	飯島 和子
2	川島町陶芸クラブ	猪鼻 幸子
3	ぬのしり写友会	岡部 俊夫
4	川島俳句連盟	小山内 敏
5	アマチュア無線クラブ	江藤 英男
6	川島町絵画愛好会“遊画”	小田 秀春
7	合唱連盟	大森 朋子
8	川島町郷土愛好会	鈴木喜久雄

文化財一覽

種 別	名 称	所有者又は管理者
◎	建 造 物 広 徳 寺 大 御 堂	廣 徳 寺
◎	絵 画 紙 本 著 色 三 十 六 歌 仙 切 (頼基) 佐 竹 本	(公財) 遠山記念館
◎	工 芸 品 秋 野 蒔 絵 手 箱	(公財) 遠山記念館
◎	書 跡 寸 松 庵 色 紙 (むめのかを)	(公財) 遠山記念館
◎	書 跡 源 頼 朝 筆 書 状	(公財) 遠山記念館
◎	絵 画 絹 本 著 色 春 靄 起 鴉 図	(公財) 遠山記念館
◎	絵 画 紙 本 著 色 布 晒 舞 図 英 一 蝶 筆	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 東 棟	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 中 棟	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 西 棟	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 土 蔵	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 茶 室	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 寄 付 待 合	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 長 屋 門	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 庭 門 及 び 内 塀	(公財) 遠山記念館
◎	建 造 物 遠 山 記 念 館 (旧 遠 山 家 住 宅) 裏 門 及 び 外 塀	(公財) 遠山記念館
◇	建 造 物 鈴 木 家 住 宅 主 屋	個 人 所 有
◇	建 造 物 鈴 木 家 住 宅 土 蔵	個 人 所 有
○	絵 画 叔 悦 禅 師 頂 相	養 竹 院
○	絵 画 紙 本 着 色 達 磨 図 信 方 印	養 竹 院
○	絵 画 絹 本 着 色 太 田 資 頼 像	養 竹 院
○	古 文 書 道 祖 土 家 文 書	個 人 管 理
□	古 文 書 小 美 濃 郷 検 地 帳	個 人 所 有
□	民俗文化財 (有形) 道 祖 神	八 幡 神 社
□	歴 史 資 料 算 額	光 西 寺
□	工 芸 品 鱈 口	薬 師 堂 保 存 会
□	彫 刻 地 蔵 菩 薩 立 像	個 人 管 理
☆	民俗文化財 (無形) 伊 草 獅 子 舞	伊 草 獅 子 舞 保 存 会
□	彫 刻 薬 師 如 来 坐 像	薬 師 堂 保 存 会
□	考 古 資 料 石 棺	川 島 町
□	彫 刻 木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	西 見 寺
□	彫 刻 木 造 聖 観 音 坐 像	正 泉 寺
□	彫 刻 木 造 阿 弥 陀 如 来 坐 像	金 剛 寺
☆	民俗文化財 (無形) 下 廓 囃 子	下 廓 囃 子 連
☆	民俗文化財 (無形) 飯 島 囃 子	飯 島 囃 子 連
☆	民俗文化財 (無形) 角 泉 囃 子	角 泉 囃 子 連
	県 選 定 重 要 遺 跡 ・ 史 跡 稻 荷 塚 古 墳 群	川 島 町

※ 種類の凡例 指定区分／ 国指定重要文化財は「◎」 県指定有形文化財は「○」
 国登録有形文化財は「◇」 町指定有形文化財は「□」
 町指定無形文化財は「☆」

V 教育関係役職員

教育行政関係役員一覧

町

町	長	飯島和夫
副町	長	石島一久

社会教育委員

学校教育関係	新井馨
家庭教育関係	伊藤千夏
社会教育関係	磯真砂子
	永田久男
	矢内力
	今井孝雄
	大久保道夫
学識経験者	岡部俊夫
	青山鉄兵
	鈴木健

公民館運営審議会委員

学校教育関係	忍田壽生
社会教育関係	戸森始
	佐藤菊江
家庭教育関係	野口久美子
	島田信子
学識経験者	青山鉄兵

幼・小・中・PTA会長

連合PTA	榎本早苗
中山小学校	伊藤あい子
伊草小学校	石川恵里
つばさ南小学校	小久保賢
つばさ北小学校	新井諭
川島中学校	新井恵美
西中学校	小和瀬真記子

スポーツ推進審議会委員

学識経験者	神田隆
	野口正東
	矢部勝宏
	松本寿美子
	加藤俊夫
	高柳香菜

文化財保護審議会委員

学識経験者	菊池建太
	久保木彰一
	金子直行
	馬橋泰雄
	渡辺洋子
	田中敦子

文化財保護専門調査員

中山	宇津木義雄
	関口宣忠
伊草	内田博
	白旗清
三保谷	高橋善隆
	猪鼻茂次
出丸	黒凶幸男
	加藤由男
八ッ保	島田進
	須田富次
小見野	尾林浩
	松本幸一

スポーツ推進委員

中山	小島小百合
	岡部宏之
	鈴木春美
	相笠勇
伊草	野口正東
	芝崎孝志
	清治里臣
三保谷	藤崎恵美子
	南義明
出丸	松原謙司
	矢嶋博
八ッ保	瀬間義昌
	松本和也
小見野	畠山巧
	林博之
	神田巳智郎

その他関係団体

子ども会連絡協議会	遠山裕太
-----------	------

図書館協議会委員

学校教育関係	小学校	柳澤 睦夫
	中学校	市川 俊実
社会教育関係	社会教育委員	磯 真砂子
	公民館運営審議会委員	戸森 始
学識経験者	学校ボランティア	小林 玲子
家庭教育関係	家庭教育ボランティア	小林 紀子

学校給食センター運営委員会委員

中山小学校長	関口 敬氏
伊草小学校長	柳澤 睦夫
つばさ南小学校長	新井 馨
つばさ北小学校長	藤田 由美子
川島中学校長	市川 俊実
西中学校長	忍田 壽生
中山小学校PTA代表	榎本 早苗
伊草小学校PTA代表	高野 理沙
つばさ南小学校PTA代表	小久保 賢
つばさ北小学校PTA代表	新井 諭
川島中学校PTA代表	宮下 香織
西中学校PTA代表	渋谷 綾子
東松山保健所長	平野 宏和
校医代表	有馬 なぎさ
識見者（商工会長）	尾崎 宗良
識見者（民生委員・児童委員協議会長）	中島 好則
公募による町民	永島 智

生涯学習推進会議委員

1号委員	爲水 順二
	川島 和春
	関口 敬氏
	市川 俊実
	岡部 俊夫
	菊池 建太
	池野谷 賢司
	神田 隆
	尾崎 宗良
	榎本 早苗
	鈴木 喜久雄
2号委員	矢部 勝宏
	野口 正東
3号委員	倉持 幸子
	遠藤 克弥
	飯島 和夫
	及川 三栄子
	中村 正宏
藤間 隆	

学校教育各種委員会委員

学校名等	学校教育推進員	就学支援委員	児童生徒体力向上推進委員
中山小学校	富 沢 友 祐	◎ 関 口 敬 氏 渡 邊 一 弘 野 本 章	○ 森 田 正 登 石 川 陽 一
伊草小学校	高 橋 昌 史	小 浅 健	原 一 芳
つばさ南小学校	原 田 真 澄	竹 下 定 子	笠 原 大 輔
つばさ北小学校	我 妻 幹 康	小 川 美 佐 代	小 林 裕 也
川島中学校	○ 中 村 岳 人 皆 川 孝 介	後 藤 雅 史	◎ 市 川 俊 実 富 岡 樹 生
西 中 学 校	◎ 忍 田 壽 生 一 関 貴 行	○ 忍 田 壽 生 松 島 明 彦 南 綾 寧	橋 口 圭 輔
子育て支援課 (保育主管課)		関 吉 治	
健康福祉課 (健康増進グループ)		友 光 愛	
けやき保育園		鹿 山 洋 子	
さくら保育園		杉 浦 浩 美	
清水こどもクリニック		専門医師 清 水 勝 則	
ハロークリニック		専門医師 新 井 克 己	
とねがわ幼稚園		学識経験者 笛 木 哲	
県立川島ひばりが丘 特別支援学校		学識経験者 大 本 和 範	

◎ 委員長
○ 副委員長